



オリーブ栽培者のための情報誌

九州オリーブ通信

Vol.16

トピックス

「九州オリーブ普及協会」15周年記念号

皆さまのおかげでオリーブ普及活動を15年間続けています

今号のトピックスは、「『九州オリーブ普及協会』15周年記念号」。

一般社団法人九州オリーブ普及協会（KOA）の設立は2009年12月14日。山あり谷ありでしたが、おかげさまで満15周年を迎えることができました。これまでの活動などをP.2～3にまとめていますので、是非ご覧ください。これからもオリーブの輪を広げるために邁進します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



▲「九州オリーブ通信」のバックナンバー。KOAのHP (<https://kyushu-olive.or.jp/>) の「各種資料」より全号閲覧可能です

“九州を東洋一のオリーブアイ

2009年12月、“九州に100万本のオリーブを”の目標を掲
普及活動の過程でオリーブ生産者の所得向上は勿論、オリーブオイルの効

一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA) 活動の歩み



2009年 ●12月14日、一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)を福岡市に設立

2010年

- KOA直営農園「安徳台KOAオリーブの里」(写真⇒)を筑紫郡那珂川町(現・那珂川市)にオープン
- 地域のオリーブ普及を担当するオリーブ栽培普及員制度をスタート
- 第1回トスカーナオリーブ栽培視察旅行開催



2011年

- イタリア・トスカーナ産オリーブ苗木(写真⇒)の輸入が本格化
- 既存のオリーブ生産者のフォローとステップアップ指導、新規生産者へのアドバイス、情報発信、商品化(搾油)に向けた研究



2012年

- 日本初のオリーブ専門教育機関「KOAオリーブ大学」(⇒写真左)を開校
- オリーブオイルを自社搾油機で初搾り(⇒写真右)
- 佐賀県佐賀市の知的障害者通所授産施設、新潟県新潟市の特定非営利活動法人にKOAのオリーブ苗木を植樹



2013年

- KOA栽培指導者がトスカーナにて第1回現地研修。習得した技術を国内のオリーブ生産者へ伝える

2014年

- トスカーナのオリーブ苗木保証協会会長、Mario Pacini氏を招き、国内各地で講演会(⇒写真上)や生産者との交流会を開催
- KOAの協力組織、一般社団法人静岡県オリーブ普及協会(SOA)が設立される
- 従前より広いオリーブ加工センター(⇒写真下)を福岡市に新設
- ジャパン・コスメティックセンターに加盟。成分分析に協力



2015年

- 一般社団法人九州荒尾オリーブ村が設立され、KOAも創立メンバーの一員として参加する(写真⇒)
- 「実践・オリーブ起業塾」を開講



2016年

- 兵庫県淡路市、香川県まんのう町、長崎県五島列島など、九州外、離島での栽培指導も増える

2017年

- KOA関連会社の株式会社オリーブジャパンが、日本初の九州産オリーブオイルを使用した洗顔料と化粧水(写真⇒)を完成、販売開始
- KOA主催、SOA共催第1回イタリア・トスカーナオリーブ実習体験旅行を開催



2018年

- イタリアの技術者の来日指導により、KOAオリーブ農園での苗木生産が本格化する



2019年

- KOA10周年記念オリーブ生産者座談会を開催(写真⇒)
- 中華人民共和国西安市、中華民国(台湾)台北市、新竹市にて説明会および視察



ランドに”。そして、その先へ



げて弊協会はスタートし、やがて活動範囲は九州を越えました。
能の啓発、青年層の新規就農、持続可能な農業についても考えてきました。

2020年

- 地形や豊かな自然などの地域資源を活用し、イタリアをテーマとしたまちづくりで地域経済の活性化を図る山口県熊毛郡平生町より、オリーブ栽培事業に関するコンサルタント契約を受託



2021年

- 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下で、「ステイホーム応援！ お中元特別企画」を実施

2022年

- 「オリーブ通信Vol.13」特集「行政がサポートするオリーブ事業」にて全国4つの自治体を取り上げる
- 宮城県石巻市で1カ月間の長期出張育苗指導を行う(写真⇒)



2023年

- 「オリーブ通信Vol.14」では、九州に移住してオリーブ栽培を始めたイタリアの方を紹介(⇒写真左)
- オリーブ栽培を目的とした農地面積で日本一の、株式会社ハーベストファーム様(⇒写真右)より苗木を受注



2024年

- オリーブ収量増加をサポートすべく、KOA会員の生産者さまへ“収量アップサポート大作戦”を行う(⇒写真左)
- 九州産オリーブオイルを使った新商品の洗顔料と化粧水をMakuakeにてクラウドファンディング(⇒写真右)



KOA会員の皆様へ

一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)理事長の百富孝行です。

18年間にわたり、日本にオリーブ産業を定着させるための活動を続けて参りましたが、今年84歳を迎え、体力も知力も衰え、3月で引退することになりました。今後は相談役として陰ながら皆様のご活躍を支えさせていただきます。

後任として、皆様良くご存知で、日本最高のオリーブ栽培技術者である籠信一にバトンタッチ致します。

振り返れば、18年前と比べると、日本のオリーブ産業も随分と発展して、北は青森県から南は鹿児島県に至るまで、全国津々浦々どこでもオリーブ樹を見ることが出来るようになりました。皆様方のご精勤の賜物と有難く受け止めさせて頂いております。

異国の地で新規農産物が完全に定着するには100年は必要でしょう。日本のオリーブ事業が完全に定着するには、まだまだ遠い道のりです。

会員の皆様方に置かれましては、オリーブ樹の様に健やかにお過ごしください。永い間、有難うございました。

感謝



就任のご挨拶



このたび、一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)の代表理事に就任しました、籠信一と申します。

まずは、これまで当協会を支えてくださった会員の皆さま、関係者の方々、そして九州内外のオリーブに関わるすべての人々に心より感謝申し上げます。

近年、九州におけるオリーブの栽培や加工技術は着実に進化しており、その品質の高さが評価されるようになってきました。こうした成果は、皆様のたゆまぬ努力と情熱の賜物であると深く敬意を表します。

今後も、九州におけるオリーブのさらなる普及と発展に尽力します。具体的には、生産者の皆さまへの技術支援や情報共有、消費者へのオリーブ製品の魅力発信、さらには地域社会や行政との連携を通じて、九州全体でオリーブ事業を一層盛り上げていきたいと考えています。また、オリーブを通じて九州の地域活性化や環境保全にも寄与できるよう、持続可能な農業モデルの構築にも取り組みます。

今後とも、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Italian olives in Japan
イタリア産オリーブ in 日本

福岡県北九州市

- 栽培者: 有限会社岸本
- 植樹時期: 2015年3月他

テレビで偶然目にしたオリーブに魅了され、栽培を始めました。オリーブの実を育て収穫する喜びを大切に、エクストラバージンオイルを身近な人々に届けています。オリーブと共に豊かな時間を育んでいます。



▲市街地からほど近い、見晴らしの良いオリーブ畑で収穫中です

熊本県荒尾市

- 栽培者: 上園満雄
- 植樹時期: 2011年11月他

地域の皆さんにオリーブのオイルも、実も、圃場のロケーションも楽しんでもらい、元気が出るオリーブ園にしたいです。今後は自分で搾ったオイルを味わいたいですね。



▲九州百名山、小岱山（しょうだいさん）を望む高台のオリーブ園



▲「日本じゃないみたい」と地域グループに言われました



◀昨年できたエクストラバージンオリーブオイルは、百貨店の通信販売でも取り扱っていただき、好評でした。写真のボトルは100ml（右）と200ml



滋賀県高島市

- 栽培者: 農業生産法人 近江夢楽ファーム
- 植樹時期: 2021年春～

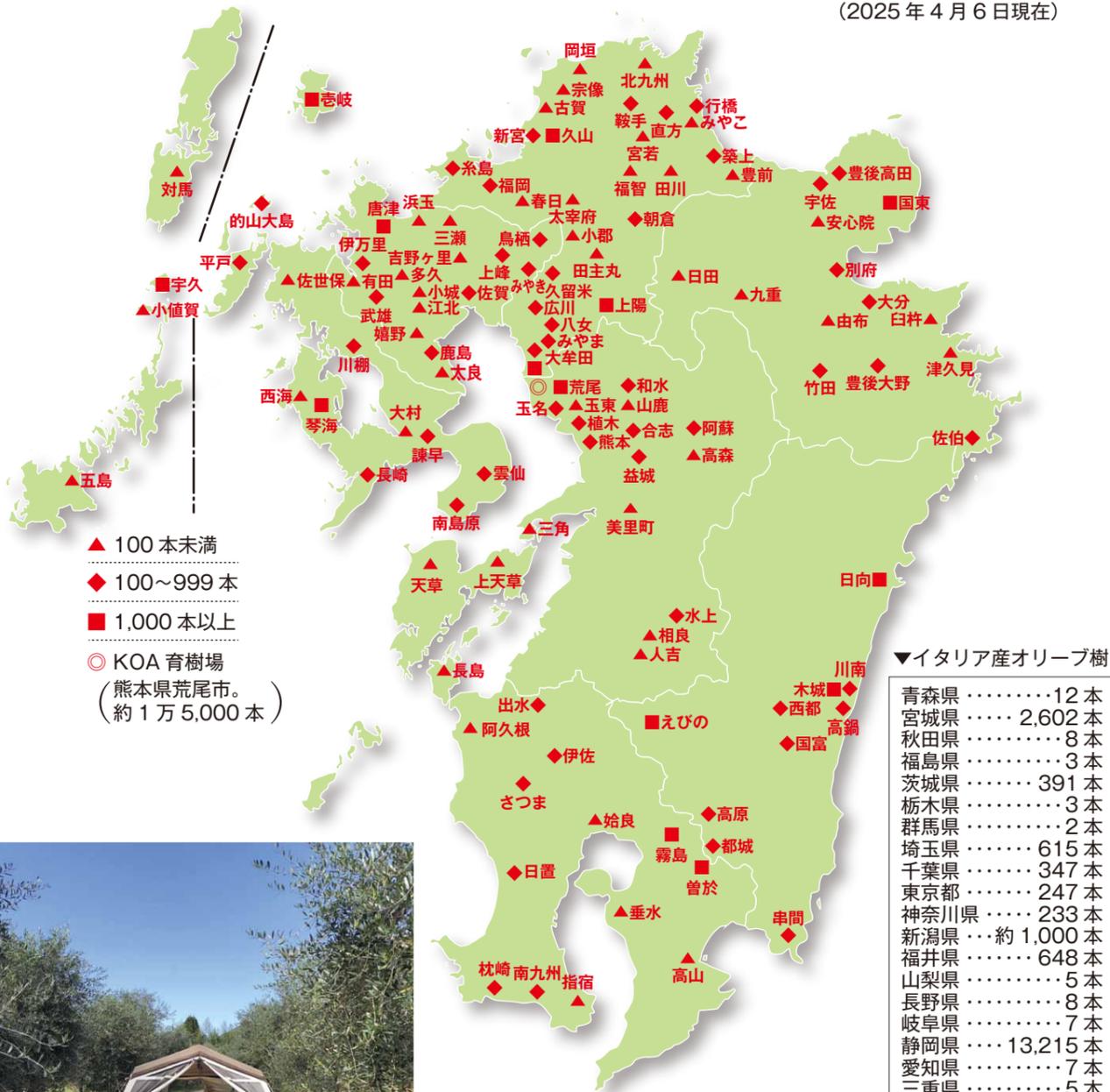
グループ会社の食品宅配業者と連携して、オリーブ石鹸やオリーブ茶を販売中です。オリーブオイルの生産を目指しつつ、オリーブ関連商品の販売を増やしていきます。



▲高島市の特産品化プロジェクトへの参加が栽培のきっかけとなりました

イタリア産オリーブ 九州栽培マップ

(2025年4月6日現在)



- ▲ 100本未満
- ◆ 100~999本
- 1,000本以上
- ◎ KOA育樹場 (熊本県荒尾市。約1万5,000本)

▼イタリア産オリーブ樹

青森県	12本
宮城県	2,602本
秋田県	8本
福島県	3本
茨城県	391本
栃木県	3本
群馬県	2本
埼玉県	615本
千葉県	347本
東京都	247本
神奈川県	233本
新潟県	約1,000本
福井県	648本
山梨県	5本
長野県	8本
岐阜県	7本
静岡県	13,215本
愛知県	7本
三重県	5本
関西地区	3,945本
鳥取県	132本
岡山県	775本
広島県	19本
山口県	17,936本
香川県	1,402本
愛媛県	10本
韓国・濟州島	16本

※栽培本数の修正、栽培地の追加などがありましたらKOA(092-738-9975)へご連絡ください

静岡県掛川市

- 栽培者: 福田 純次
- 植樹時期: 2014年秋～

最近、強剪定時に太い枝が出るが多くなったので、太木挿しを行っています。成功して丸2年を経過したものは立派なオリーブ樹になるので、販売もスタートしました。



▲オリーブ栽培を思い立って早や10年。今では、搾油所を設置して自社で搾油しています



▲ポットを使った太木挿しの様子（左）と、発根して育った見事なオリーブ樹

▲農場は、滋賀県内で最大の面積を誇る高島市に位置しています



イタリア・トスカーナのオリーブ栽培やオイル販売に興味ありますよね!?

イタリア・フィレンツェでの
収穫インターンシップ募集

イタリアで唯一の日本人オリーブ農家CEOから収穫や栽培を学びます。収穫だけでなく、大学でマーケティングの授業をしているCEOから、販売戦略・戦術に関するアドバイスも行います。イタリア・フィレンツェ空港集合解散です。



詳しくは、
下のQRコードから
ご覧ください



日本人が作る イタリア産オリーブオイル
販売者募集

イタリアで唯一の日本人オリーブ農家CEOが作るオリーブオイルの販売を行いませんか？ 3年で21の賞を受賞し、様々な百貨店で売上1位のオリーブオイル。OEMとしてあなたのブランドにして販売することも可能です。



卸値は税別
1800円～
4,800円/1Lです。
詳しくは、
下のQRコードから
ご覧ください



お知らせ

新商品をオリーブ通信限定価格で!

クラウドファンディングでも好評の洗顔料と化粧水

成分、安全性へのこだわりが支持されて、
クラファンサイト「Makuake」で目標額達成!

2025年
6月30日迄の
期間限定

● オリーブ果実油(九州産)

希少な九州産エクストラバージンオリーブオイル

● リョクトウ成長点細胞培養エキス

肌にハリと柔軟性を与え、皮膚を保護する

● アセチルヒアルロン酸Na

皮膚に潤いを与える。

別名スーパーヒアルロン酸

● フラーレン

ビタミンCの約170倍と
いわれる抗酸化力

※上記成分の配合目的:保湿

- ★パラベンフリー
- ★フェノキシエタノールフリー
- ★鉱物油(ミネラルオイル)フリー
- ★合成着色料フリー
- ★合成香料フリー
- ★アルコールフリー
- ★石油系合成界面活性剤フリー



NIPPON OLIVE LAB plus

モイストローション120ml 税込4,500円

マイルドウォッシュ100g 税込3,500円

※上記は別途送料がかかります

さらに試しやすいセット特別価格!

1セット 税込6,500円(送料無料で)

ご注文はこちらからどうぞ

support@kyushu-olive.or.jp

KOAが取り扱うイタリア産オリーブ苗木のメリット



本場の品種の潜在能力と、15年以上の日本での栽培実績が融合

世界中で愛用されている高品質でバラエティ豊かなイタリア産のオリーブオイル。そのオイルを生み出す本場の優秀な品種。数ある品種の中から、KOAが持つ15年以上の日本各地の情報を基に、優れた栽培実績を示している品種を厳選しています。

育成指導から実の買い取りまで、KOAの苗木は会員サポート付き

栽培指導で実がなるまでフォロー。実が採れたら、ご希望の量を KOAグループが相場価格で買い取ります。加工料のみで KOAグループのオリーブ加工センターでオリーブオイルや塩水漬けにすることもでき、会員様の様々なニーズに応えます。

KOAが取り扱うイタリア産オリーブ苗木



フранトイオ

- 油用
- 油含有率 20~23%

トスカーナの代表品種。世界各地でも栽培されている。オイルはフルーティ(刺激あり)かつ良質。香りも高い。



レッチーノ

- 食用・油用
- 油含有率 17~22%

寒さ、風に強い。オイルはマイルドで、果実風味は少ないが爽やかな味わい。



タツジャスカ

- 食用・油用
- 油含有率 23~26%

潮風に強い。トスカーナ州の北西、リグーリア州原産。オイルはマイルド。塩水漬けも人気がある。



レッチョ・デル・コルノ

- 食用・油用
- 油含有率 19%

寒さ、病気、害虫、乾燥に強い。適応性が高い品種。オイルはややフルーティ(刺激あり)で良質。



ペンドリーノ

- 油用
- 油含有率 22~23%

花粉が多い受粉樹。オイルの風味は繊細で美味。樹形は開帳型。霜が降りたような外果皮が特徴。



マウリーノ

- 油用
- 油含有率 20~21%

花粉が多い受粉樹。干ばつ、低温に強い。典型的なトスカーナオイルを構成する品種。



コラティーナ

- 食用・油用
- 油含有率 21~26%

初結実までの年数が短い。イタリア南部のプーリア州原産。オイルはフルーティ(刺激あり)で、ポリフェノールが多い。



コレッジョーロ

- 食用・油用
- 油含有率 15~18%

初結実までの年数が短い。フранトイオと遺伝子が近い。中部イタリアで多く栽培。オイルはフルーティ(刺激あり)。

第1回 気象条件

オリーブの樹は穏やかな冬、晴れた春、暑い夏が続く気候でよく育つ。果実の収穫が目的の場合、年平均気温が15℃～20℃である必要がある。最高気温は40℃でもダメージを受けないが、最低気温はマイナス7℃を下回る時間が長く続くと樹に深刻な損傷を受けることがある。但し、上記の年平均気温は目安であり、また、低温への耐性は霜の期間、霜の前の気象条件、強い寒風の存在、湿度、樹齢、発芽期か否か、樹の健全性などにも左右される。幼木は低温に弱く、寒冷下の高湿度も注意を要する。

なお、着果(着花)には寒さが必要で、1月の平均気温が10℃以下、あるいは最高気温10℃以下が20日以上でなければ着果しにくくなる。

また、樹の倒伏や傾木、幼木の消散、根傷み、果実の損傷・落下、枝折れなどが発生しやすいので、風が強い場所や絶えず風が吹いている場所には植えない。

オリーブ栽培に望ましい気象条件は次の通り。



【年平均気温】 15℃～20℃

【年間日照時間】 2,000時間以上

【年間降水量】 1,000mm程度

【積雪】 積雪地でも栽培可能だが、枝折れが多発する場合は枝葉の雪を落とすなどの対策が必要

◀オリーブ樹にたくさん果実を生らせるためには、多くの葉を太陽の光でよく照らさなければならぬ



◀雪の重みで枝が折れた箇所から「オリーブがんしゅ病」などの植物病原細菌が侵入するリスクがある

編集後記

KOAは満15周年を迎えました。この間、農業は「スマート化」「環境対応」「人手不足対応」「食料安全保障強化」という4つの大きな変化を遂げました。特に、AI、ロボット、データ活用によるスマート農業の進化は、今後の農業の在り方を大きく変えるでしょう。より持

続可能な形へ進化し、技術と環境保全が両立する新時代の農業へ、弊協会もオリーブを通して貢献していきます。(Shin)



九州オリーブ通信 Vol.16 (2025年 4月6日発行)

発行者: 麓 信一

発行所: 一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)

〒810-0044 福岡市中央区六本松2-13-5 イーエム六本松駅前4F

TEL: 092-738-9975 FAX: 092-738-9987

HP: <http://kyushu-olive.or.jp/> email: support@kyushu-olive.or.jp